



南小だより

鶴岡市立櫛引南小学校
発行日 令和6年2月26日

地域と共にある学校づくりのために (第3回学校運営協議会の報告)

今年度からスタートした学校運営協議会ですが、去る1月25日に第3回目の会合を開きました。はじめに、委員の皆様から授業参観していただき、タブレットを使った授業の様子や、創立60周年記念で購入させていただいた図書室のバーコード機器、図書室を利用している様子などを観ていただきました。その後、全国学力学習状況調査といじめアンケート、学校評価アンケートの本校の結果について報告をしました。熟議・意見交換では、「みなみっこのよりよい育ちのために」というテーマで、今回も様々なご意見を頂戴したところです。工夫すれば実現可能なアイデアも出していただき、たいへん貴重な時間となりました。

熟議・意見交換「みなみっこのよりよい育ちのために」

①これからも続けていきたい!というもの

◇りんご学習に関わって

- ・栽培や管理、加工、販売（配布）などのりんごができるまでのプロセスを通して、栽培の難しさや収穫の喜びを体験したり、人との関わりや食べ物を大切にすることを学んだりしてほしい。
- ・「りんご学習を守る会」はメンバーが現在5名と人手不足の状況。りんご園を地域で管理するなど、地域ぐるみで取り組む事業にしていきたい。

◇あいさつ・声かけ運動の継続

②もっとこうしていきたい!というもの

◇防災教育に関わって

- ・様々な災害の状況にいることを想定して、子どもが自分で判断したり、避難の意識を高めたりするような防災訓練を考えたい。
- ・どのような防災教育や訓練をしているのか保護者も共有できるように、学校での取り組みを伝えてほしい。

◇上下関係に関わって

- ・少人数のためヨコの関係は強いと思われるが、上下関係（タテの関係）を学ぶ場や機会を設けてほしい。（登校班など）

③子ども達の幸せな未来のために

◇キャリア教育（職業体験）

- ・職業のイメージがつくよう小学生のうちから様々な職業体験をさせたい。職業体験を通して様々な感じることで、心の成長にもつながるものと思われる。
- ・福祉学習として、老人福祉施設等でのボランティア活動

◇地域人材について

- ・学校で必要な人手を地域から募集し、人材バンクを作ってはどうか。

◇積極的なICTの活用

- ・学習内容や評価などデータ化して保護者と共有できる仕組みを作れるといい。
- ・オンラインで他校とつながり、学校間の交流を図る。